

令和4年3月4日

保護者の皆様へ

京都市立音羽川小学校  
校長 鎌田 真行

## 令和3年度 後期学校評価について

先日はお忙しい中アンケートにお答えいただきありがとうございました。集計の結果がまとまりましたので報告いたします。（集計の結果は四捨五入し%で表示しているため、1名の回答があっても0%と表示されているものがあります。ご了承ください。）

			はい	だいたい	あまり	いいえ	わからない
設問1	児童	勉強がよくわかりますか	50	41	6	1	1
	保護者	お子さんは勉強がよくわかるかといっていますか	26	60	11	2	2
	教職員	よくわかる授業	14	72	3	0	10
設問2	児童	家で毎日学習していますか	49	30	16	4	1
	保護者	お子さんの家庭学習は習慣化していますか	36	47	13	3	0
	教職員	家庭学習が習慣化する指導	28	55	10	3	3
設問3	児童	すすんであいさつをしていますか	44	37	13	6	1
	保護者	お子さんはすすんであいさつしていますか	27	47	21	3	2
	教職員	すすんであいさつをする指導	62	52	3	7	0
設問4	児童	きまりを守っていますか	48	43	6	2	2
	保護者	お子さんはきまりを守っていますか	34	57	7	1	0
	教職員	きまりを守る指導	62	34	0	3	0
設問5	児童	誰からも大切にされていますか	55	18	6	2	19
	保護者	お子さんは誰からも大切にされていますか	88	11	0	0	1
	教職員	誰もが大切にされる学級づくり	41	48	0	0	10
設問6	児童	早寝・早起きをしていますか	35	37	17	11	1
	保護者	お子さんは規則正しい生活ができていますか	34	50	12	4	0
	教職員	規則正しい生活の指導	41	45	0	0	14
設問7	児童	防犯や安全に気をつけていますか	79	17	2	1	1
	保護者	お子さんは防犯や安全を意識できていますか	40	51	9	0	0
	教職員	防犯や安全についての指導	66	31	0	3	0
設問8	児童	学校が楽しいですか	66	21	6	6	2
	保護者	お子さんは学校が楽しそうですか	62	29	5	2	1
	教職員	学校が楽しいと思える学級づくり	41	41	0	0	17
設問9	児童	困ったときは誰かに相談していますか	55	24	12	7	3
	保護者	お子さんは困ったときは誰かに相談していますか	44	46	6	1	3
	教職員	相談しやすい人間関係づくり	31	48	7	7	7
設問10	児童	どんなことにもすすんで取り組んでいますか	42	41	12	3	3
	保護者	お子さんは何事にも積極的に取り組んでいますか	27	55	15	2	1
	教職員	主体性を育む指導	10	63	10	7	10
設問11	児童	自分には良いところがあると思いますか	49	19	7	8	16
	保護者	お子さんは自分の良さを意識できていますか	28	54	14	1	4
	教職員	自尊心を育む指導	14	59	3	3	21

この学校評価アンケートは、「学校教育目標」や「めざす子ども像」の具現化に向けた各種取組を、児童・保護者・教職員から見た実現度を比較することで、現在の学校の取組を評価し、今後の改善策を練り学校運営や学級経営に生かすことをねらいにしています。

集計すると前期同様、概ね「はい」「だいたい」が80%以上の肯定的な結果が出ています。前期は保護者の回答傾向の向上が目立つ結果でしたが、後期もそのよい状態を保つことができています。ただ、設問6の「規則正しい生活」については児童、保護者の肯定的な回答が4～5%減っています。原因のひとつとして1月以降のコロナウイルスの急な感染拡大により、学級閉鎖や自宅待機などが増えたことが生活リズムの乱れのきっかけになっているのではと考えています。また、設問5「大切にされている」についてと、設問11の「自分の良いところ」については、児童の「わからない」と回答している割合が5%程度増えています。学級閉鎖や自宅待機等で予定通り進まないことも多くなってきていることが「自信のなさ」につながっていると思われます。教職員の回答傾向の低下している部分にも相関関係がありそうです。コロナ渦はしばらく続くかもしれませんがその中でも「自分も友達も大切にできる」姿、「主体的に活動を楽しむ」姿を目指して取り組みを続けることが、これらの設問に自信をもって肯定的に回答できる児童が増えることにつながると考えています。引き続き、本校教育活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。